

Google スクリプトを利用した 自動送信メールの設定方法

2014.5.18 からだにいいこと
<http://www.karada-good.net/bodygood-it/outogmail>

1. まずはじめに Google でアカウントを取得します。

***取得した GMail アカウントよりメールが送付されます。**

* アカウントを取得済みの方は

" 2 自動送信メールを設定する。" にお進みください。

1-1 インターネットエクスプローラーで Google のページを開きます。

アドレスを直接入力するか、次のカギ括弧内をクリックしていただいても構いません。【 <http://www.google.co.jp/webhp?hl=ja> 】

1-2 下の画面が表示されたら、右上の「ログイン」をクリックします。



1-2 下の画面が表示されたら、右上の「アカウント作成」をクリックします。



1-2 下の画面が表示されたら、右側に必要事項を入力し、画面下の「次のステップ」をクリックする。



新しい Google アカウントを作成



検索にとどまらない Google アカウント

会話、チャット、共有、スケジュール管理、保存、整理、コラボレーション、発見、そして創作。Gmail から Google+ や YouTube に至るまで、Google のあらゆるサービスを 1 つのユーザー名とパスワードで使用でき、検索履歴も保存されます。すべてのデータは常時バックアップされ、Google で、いつでも簡単に見つけることができます。



いつでも一緒に

1 つの Google アカウントで、Gmail、画像などあらゆる所有データごとの端末からもアクセスできます。画像を撮ったりマイクに話したりして検索できるほか、無料のターンバイターン方式のナビや画像の自動アップロード機能もご利用いただけます。さらに、携帯端末で Google ウォレットを使ってお買い物を楽しむこともできます。

名前

姓 名

ユーザー名を選択

@gmail.com

パスワードを作成

パスワードを再入力

誕生日

年 月 日

性別

選択してください

携帯電話

+81



必要事項を入力する。

以降、画面に表示される手順に従い、入力をして下さい。
アカウント作成後、Google の機能が使えるようになります。

以上が、Google アカウントの取得手順です。

2. 自動送信メールを設定する。

2-1 インターネットエクスプローラーで Google のページを開きます。
アドレスを直接入力するか、次のカギ括弧内をクリックしていただいても構いません。【 <http://www.google.co.jp/webhp?hl=ja> 】

2-2 下の画面が表示されたら、右上の「ログイン」をクリックします。



2-3 下の画面が表示されたら、右側のログイン項目に取得した
【メールアドレス】と【パスワード】を入力しログインボタンを押します。

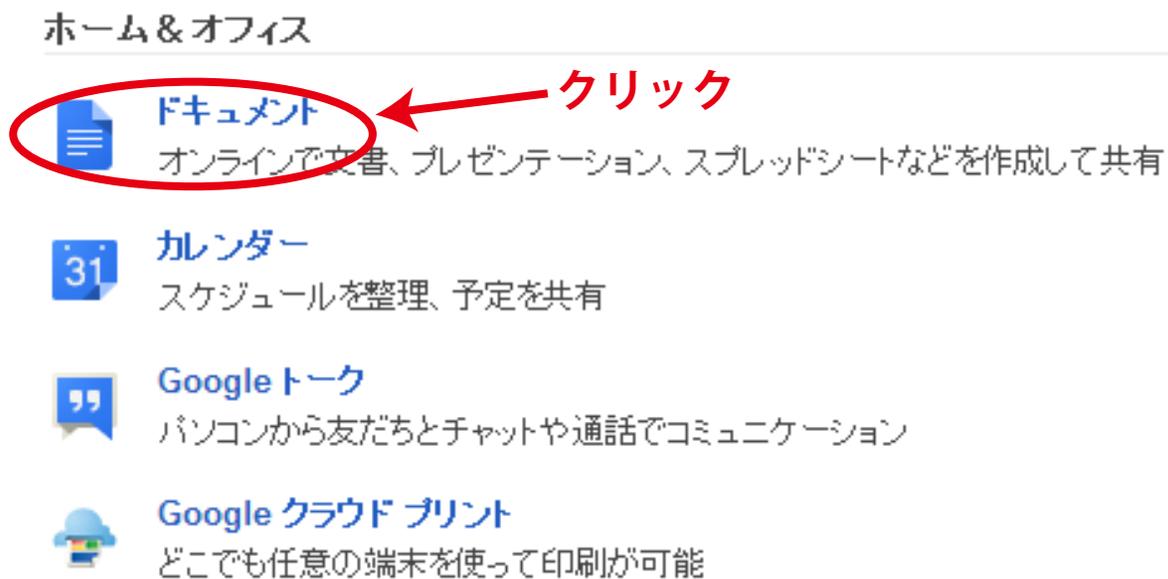


↑
メールアドレス
パスワードを入力する。

2-4 Google のページが開きますので、画面上側にある【もっと見る】を。をクリックし、【さらにもっと】をクリックします。



2-5 Google で利用できるサービスの一覧が表示されます。サービスの中から【ホーム & オフィス】の【ドキュメント】を探しクリックします。



2-6 Google Drive にファイルが無ければ、下記画面が表示されます。
左側【作成】をクリックしてください。



2-7 メニューが表示されたら、【スプレッドシート】をクリックしてください。



2-8 新規スプレッドシートが作成されます。

下記のように A1 に【メールアドレス】

B1 に【メールタイトル】

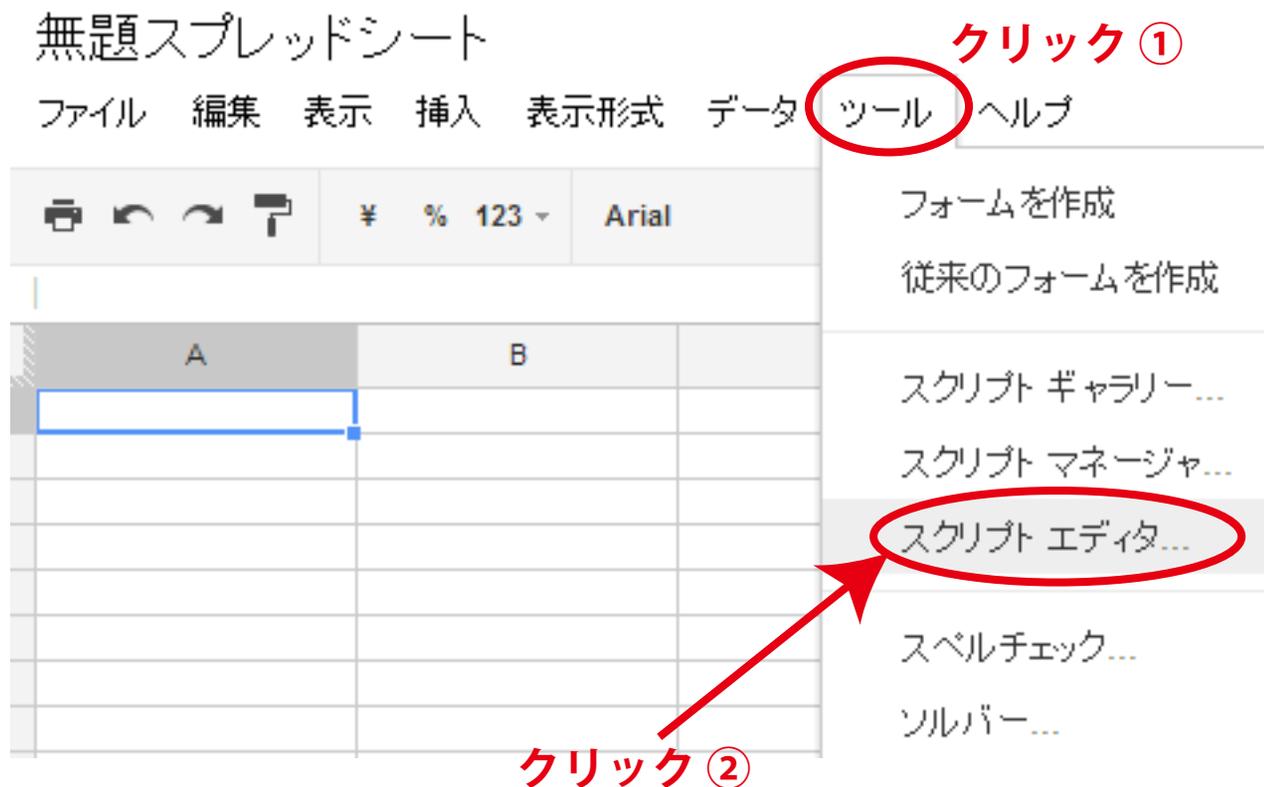
C1 に【メール本文】

と入力してください。



2-9 スプレッドシート上部、メニューバーの【ツール】をクリックし

【スクリプトエディタ】をクリックしてください。



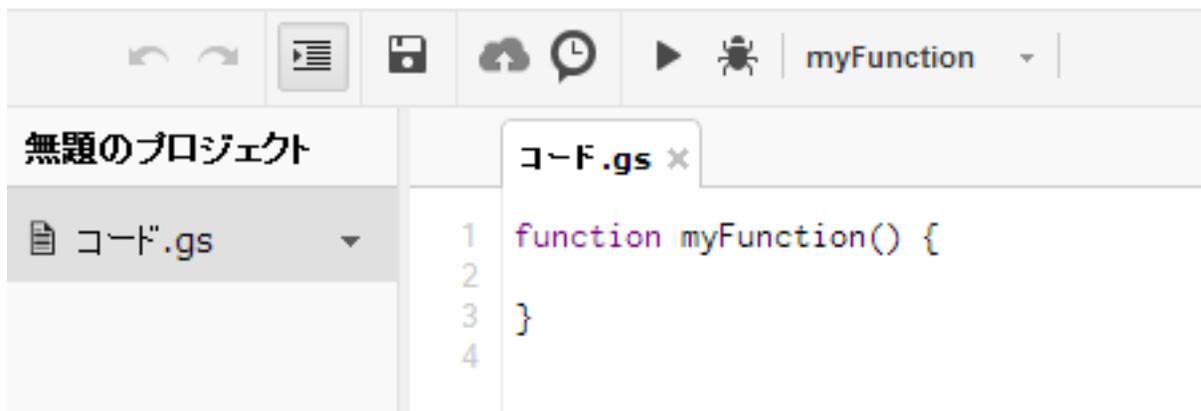
2-10 初めてスクリプトを作成する場合、下記の表示が出ます。
【空のプロジェクト】をクリックする。



2-11 スクリプトを入力する画面に変わります。

無題のプロジェクト ← クリックすることで
名前を変更できます。

ファイル 編集 表示 実行 公開 リソース ヘルプ



2-12 以下のスクリプトを入力します。

```
function myFunction() {  
  var MailData = SpreadsheetApp.getActiveSheet();  
  var Mail_To = MailData.getRange("A2").getValue();  
  var Mail_Title = MailData.getRange("B2").getValue();  
  var Mail_Body = MailData.getRange("C2").getValue();  
  
  MailApp.sendEmail(Mail_To, Mail_Title, Mail_body);  
}
```

画面では下記のようになります。



```
コード.gs x  
1 function myFunction() {  
2   var MailData = SpreadsheetApp.getActiveSheet();  
3   var Mail_To = MailData.getRange("A2").getValue();  
4   var Mail_Title = MailData.getRange("B2").getValue();  
5   var Mail_Body = MailData.getRange("C2").getValue();  
6  
7   MailApp.sendEmail(Mail_To, Mail_Title, Mail_body);  
8   }  
9
```

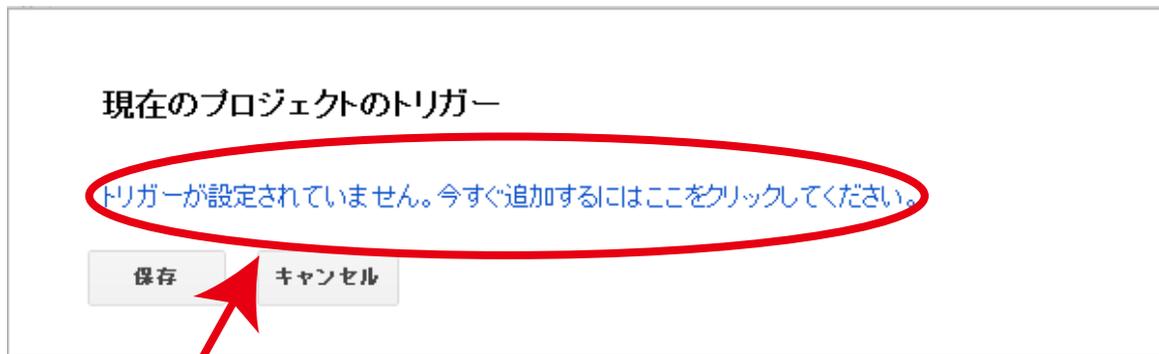
2-13 スクリプトを実行する間隔を設定します。

下記、赤丸で囲まれた【時計マーク】をクリックします。



クリック

2-14 何も設定されていなければ、画面に下記表示が出ます。
青い文字をクリックしてください。



クリック

2-15 下記、表示が出ます。



下記のようにお好みで変更してください。

イベントは必ず【時間主導型】にしてください。



設定が終わりでしたら、必ず保存してください。

無題のプロジェクト

ファイル 編集 表示 実行 公開 リソース ヘルプ



2-16 先ほど作成したスプレッドシートの画面を選択してください。

下記例のように A2 に【送信先のメールアドレス】

B1 に【メールタイトル】

C1 に【メール本文】

を入力してください。

送信先が複数の場合は**カンマ**でメールアドレスを区切ってください。



2-17 メール送信のテストは【スクリプトエディタ】を開き赤丸の個所をクリックすることでおこなえます。



***取得した GMail アカウントからメールが送付されます。**

以上で設定が完了です。